

午後Ⅰ試験

問1

問1では、食品メーカーの合併に伴うシステムの統合を題材に、システム機能設計、ファイル設計、及び業務プロセスの変更点について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1(1)は正答率が低かった。製造指示及び投入指示を作成する際、充填、殺菌、調合、仕込の順番で作成している理由を問う問題であったが、単純に問題文の一部を切り取っただけで、後工程から先に作成している理由が不明確な解答が多かった。

設問2(1)は正答率がやや低かった。属性の値として“有”、“無”がどのような場合に設定されるかを問う問題であったが、“有”、“無”の一方だけを記述した解答が散見された。システムの仕様を記述する際、何を書けば正しく伝わるかを意識してほしい。

設問3(2)の正答率は平均的であった。B社が問題としていた“本社管理部門で管理指標値が翌月にならないと確認できないこと”が、システム統合によって“夜間に管理指標値を集計し、翌日に本社から参照可能になること”を答えてほしかったが、リアルタイムに反映されると誤解した解答が散見された。業務を正しく理解した上で情報システムを設計することの重要性を理解してほしい。

問2

問2では、会員向けサービスに関わるシステム改善を題材に、情報システムへの改善要望から求められている機能の設計について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1は、正答率が低かった。現在の基幹システムで借入残高を更新しているタイミングを十分に理解していないと思われる解答が散見された。既存の情報システムの仕様を正しく理解した上で、機能を設計することが重要であることを理解してほしい。

設問4(1)は、正答率が低かった。事務部門の業務効率化を目的として、勤務先情報の変更時、基幹システムが審査システムと連携する条件を問う問題であったが、事務部門の現在の業務に関連しない解答が散見された。どのような要望に基づいてシステムの改善を行うかを意識し、適切な処理内容を設計するよう心掛けてほしい。

問3

問3では、学習塾の通知システムを題材に、複数の拠点がある場合の影響、追加要望に対応するための設計について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問2(2)は、正答率がやや低かった。保護者メールアドレスをキーに検索すると複数拠点の生徒が一致する可能性があることを問う問題であったが、“臨時で別拠点の授業を受けている場合”と誤って解答した受験者が多かった。本文中の記述から処理の内容と指摘事項を読み取り、正答を導き出してほしい。

設問3(1)は、正答率がやや低かった。変更する機能名を、“登下校通知メール送信”と誤って解答した受験者が多かった。追加機能の実装に併せて、既存機能にどのような変更が必要となるかを正しく把握してほしい。

設問3(3)は、拠点在室人数表示機能に関する変更内容の正答率がやや低かった。“別拠点の生徒も抽出対象に加える”のような、条件の変更には触れているものの、内容が不十分な解答が散見された。別拠点の生徒が自拠点に登下校するケースだけでなく、自拠点の生徒が別拠点に登下校するケースもあることから、人数の計算には登下校履歴ファイルの“拠点コード”を使用する必要がある。追加要望に応じた変更を加える際の影響範囲を正しく把握し、適切な処理内容を設計できるよう心掛けてほしい。